

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
市村座五月狂言芸評 [明治16・5市村座] [逆櫓]	劇評	六二総連／編		『俳優評判記』	第二十編	明治16年6月◆植木 林之助
市村座五月狂言芸評 [明治16・5市村座] [逆櫓]	劇評	六二総連／編		『六二連◆俳優評判 記◆中』		平成16年3月◆日本 芸術文化振興会◆法 月敏彦／校訂◆「歌 舞伎資料選書・9」
寿座評判記[明治23・ 11寿座][勘当場・逆 櫓・無間鐘]	劇評	六二連◆梅素薫・高 須高燕		歌舞伎新報	第千八百八十九・千百 九十号	明治23年11月◆歌舞 伎新報社
寿座評判記[明治23・ 11寿座][勘当場・逆 櫓・無間鐘]	劇評			『六二連◆俳優評判 記◆歌舞伎新報編◆ 下』		平成19年3月◆日本 芸術文化振興会◆法 月敏彦／校訂◆「歌 舞伎資料選書・10」
歌舞伎座合評[明治 35・10歌舞伎座][逆 櫓]	劇評・型	三木竹二・伊原青々 園・清潭生・真如女史	松右衛門(《9》市川団 十郎)	歌舞伎(第一次)	第30号	明治35年11月◆歌舞 伎発行所
前号の合評を見て [逆櫓]	劇評	榎町・駒込・桜田		歌舞伎(第一次)	第31号	明治36年1月◆歌舞 伎発行所
羽左衛門の芸談	雑報			歌舞伎(第一次)	第55号	明治37年11月◆歌舞 伎発行所
歌舞伎座の「ひらか な盛衰記」(網版)[明 治38・11歌舞伎座]	写真	清潭生		歌舞伎(第一次)	第68号	明治38年12月◆歌舞 伎発行所
歌舞伎座前の郵便函 [明治38・11歌舞伎 座][勘当場・逆櫓]	劇評	駒井某		歌舞伎(第一次)	第68号	明治38年12月◆歌舞 伎発行所
歌舞伎座合評[明治 38・11歌舞伎座]	合評	小山内撫子・吉田白 甲・三木竹二・水口薇 陽・真如女史・東儀鉄 笛		歌舞伎(第一次)	第68号	明治38年12月◆歌舞 伎発行所
「逆櫓」の略型[明治 40・1寿座]	型	川尻清潭	樋口(《1》中村時蔵)	歌舞伎(第一次)	第82号	明治40年2月◆歌舞 伎発行所
京都の十月芝居[明 治41・10京都夷谷座] [勘当場]	劇評	宮島春斎		歌舞伎(第一次)	第100号	明治41年11月◆歌舞 伎発行所

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「ひらがな盛衰記」由来	考証	関根黙庵		演芸画報	明治45・5	演芸画報社
平仮名盛衰記・先陣問答[明治45・4歌舞伎座]	見たまま	歌之助	源太(《11》仁左衛門) 千鳥(《5》歌右衛門) 延寿(《3》歌六)平次(《15》羽左衛門)	演芸画報	明治45・5	演芸画報社
ひらかな盛衰記◆先陣問答	見たまま	歌之助(三島霜川)		『芝居見たま』	磯部甲陽堂	大正2年12月
「ひらがな盛衰記」由来	考証	関根黙庵		『芸苑講談』	大正3・10	いろは書房◆「近世文芸研究叢書第二期芸能篇9歌舞伎9」(平成8年12月◆・クレス出版)に復刻所収。
歌舞伎座の四月狂言[明治45・4歌舞伎座][源太勘当]	写真		源太(《11》片岡仁左衛門)	歌舞伎(第一次)	第143号	明治45年5月◆歌舞伎発行所
演劇八面観◆[源太勘当]	解説			演芸画報	明治45・5	演芸画報社
「盛衰記」の段取	梗概	鈍太郎		演芸画報	明治45・5	演芸画報社
梶原源太景季	芸談・扮装記録	倒扇子／筆記	《11》片岡仁左衛門	演芸画報	明治45・5	演芸画報社
梶原平次景高	芸談	倒扇子／筆記	《15》市村羽左衛門	演芸画報	明治45・5	演芸画報社
母の延寿	芸談	倒扇子／筆記	《3》中村歌六	演芸画報	明治45・5	演芸画報社
腰元千鳥	芸談	倒扇子／筆記	《5》中村歌右衛門	演芸画報	明治45・5	演芸画報社
「ひらがな盛衰記」評[勘当場]	劇評	竹のや主人		演芸画報	明治45・5	演芸画報社
「ひらがな盛衰記」の鳴物	演出	《4》杵屋勝四郎		演芸画報	明治45・5	演芸画報社
梶原の家[人々の性格]	随筆	白壁生		演芸画報	明治45・5	演芸画報社
「ひらかな盛衰記」の型[明治45・4歌舞伎座][源太勘当]	見たまま	川尻清潭	源太(《11》仁左衛門) 千鳥(《5》歌右衛門) 延寿(《3》歌六)平次(《15》羽左衛門)	演芸画報	明治45・6	演芸画報社
演劇八面観[逆櫓の松]	解説			演芸画報	明治45・7	演芸画報社
逆櫓」の年表	考証	関根黙庵		演芸画報	明治45・7	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「逆櫓」雑話	雑話	吉太郎		演芸画報	明治45・7	演芸画報社
船頭松右衛門実八樋口次郎兼光	芸談・扮装記録	倒扇子／筆記	《1》中村吉右衛門	演芸画報	明治45・7	演芸画報社
侍女お筆	芸談・扮装記録	倒扇子／筆記	《8》尾上芙蓉	演芸画報	明治45・7	演芸画報社
秩父庄司重忠	芸談・扮装記録	倒扇子／筆記	《6》尾上栄三郎	演芸画報	明治45・7	演芸画報社
松右衛門女房お芳〔逆櫓〕	芸談		《5》岩井桑三郎	演芸画報	明治45・7	演芸画報社
船頭松右衛門〔逆櫓〕	芸談・扮装記録	倒扇子／筆記	《3》中村歌六	演芸画報	明治45・7	演芸画報社
吉右衛門の樋口其他〔明治45・6市村座〕〔逆櫓〕	劇評	春秋庵		演芸画報	明治45・7	演芸画報社
「逆櫓」雑感〔明治45・6市村座〕〔逆櫓〕	劇評	本間久雄		演芸画報	明治45・7	演芸画報社
サムライの勝利〔逆櫓の人々の性格〕	評論	寺田波二		演芸画報	明治45・7	演芸画報社
六月の市村座〔明治45・6市村座〕〔逆櫓〕	劇評	小宮豊隆		演芸画報	明治45・7	演芸画報社
登場俳優の用意〔逆櫓〕	芸談	倒扇子／筆記	《1》中村吉右衛門	演芸画報	明治45・7	演芸画報社
平仮名盛衰記の型〔松右衛門内より逆櫓の松まで〕	見たまま	川尻清潭	松右衛門(《1》吉右衛門)権四郎(《3》歌六)およし(《5》桑三郎)お筆(《8》芙蓉)	演芸画報	明治45・8	演芸画報社
「妙海尼」と「逆櫓」〔大正1・11帝国劇場〕	劇評	青々園		歌舞伎(第一次)	第150号	大正1年12月◆歌舞伎発行所
帝劇の妙海尼〔大正1・11帝国劇場〕〔逆櫓〕	劇評	生田蝶介		演芸倶楽部	大正1・12	博文館
ひらがな双紙〔上〕〔「逆櫓」樋口〕	型	杉賡阿弥		演芸画報	大正5・8	演芸倶楽部
ひらがな双紙〔下〕〔「逆櫓」樋口〕	型	杉賡阿弥		演芸画報	大正5・9	演芸倶楽部
ひらがな双紙〔樋口・お筆〕	型	杉賡阿弥		『舞台観察手引草』		大正7年6月◆玄文社◆昭和32年11月◆演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
横浜座見物[大正6・9 神奈川横浜座][勘当 場・逆櫓]	劇評	岡栄一郎		演芸画報	大正6・10	演芸倶楽部
ひらがな盛衰記[大 正6・9横浜座] [逆櫓]	見たまま	富美之助	松右衛門(《1》吉右衛 門)権四郎(《4》松助) およし(《4》国太郎)お 筆(《3》菊次郎)	演芸画報	大正6・10	演芸倶楽部
久松町春賑[大正7・1 明治座][笹引・逆櫓]	劇評	豊島屋主人		新演芸	大正7・2	玄文社
楽屋訪問記	芸談		《1》中村吉右衛門	揚幕	大正8・1	揚幕発行所
揚幕新聞◆逆櫓のな のり[大正8・1市村 座]	見たまま	大橋秀花	樋口(《1》吉右衛門) 権四郎(《5》東蔵)お よし(《4》国太郎)	揚幕	大正8・2	揚幕発行所
劇作家の見たる松右 衛門[大正8・1市村 座][逆櫓]	劇評	伊原青々園・中内蝶 二・竹の屋主人		揚幕	大正8・2	揚幕発行所
ひらがな盛衰記	鑑賞	安部豊		『舞台のおもかげ◆ 中村吉右衛門』		大正8年6月◆好文社
無間の鐘の菊之丞	考証	関根黙庵		新演芸	大正8・6	玄文社
吉右衛門旗上狂言評 判集[大正10・6新富 座][逆櫓]	劇評	伊原青々園・田村西 男		揚幕	大正10・7	揚幕発行所
旗上げの芝居から [大正10・6新富座] [逆櫓]	劇評	吉田魯洋		揚幕	大正10・7	揚幕発行所
新しく考察した役の性 根◆「役の性根」より 見たる「逆櫓の松」の 人々	研究	三宅周太郎		演芸画報	大正10・9	演芸倶楽部
「役の性根」より見た る「逆櫓の松」の人々	劇評	三宅周太郎		『演劇往来』		大正11年2月◆新潮 社
「佐倉新絵巻」と「勘 当場」[大正10・11市 村座]	劇評	三宅周太郎		演芸画報	大正10・12	演芸倶楽部
中車と延若[大正13・ 9本郷座][逆櫓]	劇評	山崎紫紅		演劇新潮	大正13・10	新潮社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
ひらがな盛衰記	解説	飯塚友一郎		『歌舞伎細見』		大正15年10月◆第一書房
「勘当場」小見	劇評	三宅周太郎		『演劇評話』		昭和3年3月◆新潮社
四月の帝国劇場[昭和3・4帝国劇場][勘当場]	劇評	高安月郊		演芸画報	昭和3・5	演芸画報社
「逆櫓」の開く前	解説	渥美清太郎		歌舞伎(第二次)		
ひらがな盛衰記[昭和4・5歌舞伎座]	見たまま	英之助	樋口(《1》吉右衛門) 権四郎(《6》友右衛門) 門)およし(《3》時蔵)	歌舞伎(第二次)		
レビウが流行する◆樋口と内海太郎[昭和4・5歌舞伎座][逆]	劇評	伊原青々園		『伊原青々園集』		昭和16年12月◆坂上書院
吉右衛門の「馬盃」其他[昭和6・11大阪中座][逆櫓]	劇評	高原慶三		演芸画報	昭和6・12	演芸画報社
歌舞伎座の二部制芝居一役一言◆「盛衰記」の源太	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	昭和7・7	演芸画報社
歌舞伎座二部制芝居展観(二)[勘当場]	劇評	三宅周太郎		演芸画報	昭和7・7	演芸画報社
梅ヶ枝	芸談	鴻池幸武／編	吉田栄三／述	『吉田栄三自伝』		昭和8年11月◆相模書房◆昭和23年5月◆和敬書店
九月の東京劇場[昭和9・9東京劇場][逆櫓]	劇評	本間久雄		演芸画報	昭和9・10	演芸画報社
吉右衛門の逆櫓[昭和9・9東京劇場]	劇評	本間久雄		『歌舞伎◆研究と鑑賞』		昭和22年12月◆天絃社◆昭和33年12月◆松柏社
無線電話(8)[逆櫓]	演出	花水庵		演芸画報	昭和9・10	演芸画報社
歌舞伎座の逆櫓	解説	岡鬼太郎		『鬼言冗語』		昭和10年4月◆岡倉書房
魁玉夜話(4)[千鳥][勘当場]	芸談	安部豊／記	《5》中村歌右衛門	演芸画報	昭和10・7	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
今月の青年歌舞伎と 其将来[昭和11・3新 宿第一劇場][勘当 場]	劇評	渥美清太郎		演芸画報	昭和11・4	演芸画報社
初役の樋口	芸談		《4》片岡我当	演芸画報	昭和11・11	演芸画報社
手拭の蒐集[お筆]	芸談		《3》坂東鶴之助	演芸画報	昭和11・11	演芸画報社
東京青年歌舞伎を観 る[昭和11・10新宿第 一劇場][逆櫓]	劇評	安部豊		演芸画報	昭和11・11	演芸画報社
ひらかな盛衰記の鑑 賞	解説	三宅三郎		演芸画報	昭和15・8	演芸画報社
名品樋口	雑話	大山文吉		演芸画報	昭和15・8	演芸画報社
樋口兼光	芸談		《1》中村吉右衛門	演芸画報	昭和15・8	演芸画報社
大阪二座見物記[昭 和16・9大阪中座][勘 当場・無間鐘]	劇評	安部豊		演芸画報	昭和16・10	演芸画報社
歌舞伎にあらはれた 義理人情◆新口村と 逆櫓の松◆義理と人 情の一断想	評論	林和		演芸画報	昭和17・1	演芸画報社
歌舞伎会見物[昭和 16・12歌舞伎座][勘 当場]	劇評	草村春二		演芸画報	昭和17・1	演芸画報社
勘当場	研究	三宅周太郎		『歌舞伎研究』		昭和17年12月◆拓南 社
太夫の立役	芸談	川尻清潭／編◆《7》 市川中車	樋口(《3》国太郎)	『中車芸話』		昭和18年9月◆築地 書店◆『日本の芸談 ◆第二巻◆歌舞伎II』 (昭和54年2月、九芸 出版)、『日本人の自 伝◆20』(昭和56年8 月、平凡社)に収録。
三月の関西劇壇[昭 和21・3京都南座][勘 当場]	劇評	高谷伸		演劇界	昭和21・4	日本演劇社
「神崎揚屋」の梅ヶ枝	解説	大西重孝		幕間	昭和22・別冊	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
東京都劇場だより[昭和22・7三越劇場][勘当場]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和22・8	和敬書店
東京都劇場だより[昭和22・11三越劇場][逆櫓]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和22・12	和敬書店
「ひらかな盛衰記」の「勘当場」	劇評	三宅周太郎		『日本演劇考察』		昭和23年5月◆富山房
芸術性と大衆性[昭和23・6東京劇場][逆櫓]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和23・7	和敬書店
中車と段四郎[逆櫓]	評論	穂積重遠		『歌舞伎思出話』		昭和23年10月◆大河内書店
若返った歌舞伎[昭和24・6大阪大阪歌舞伎座][逆櫓]	劇評	井上甚之助		幕間	昭和24・7	和敬書店
南座の六月[昭和24・6京都南座][勘当場]	劇評	河崎平一郎		幕間	昭和24・7	和敬書店
紙上舞台◆逆櫓	解説・演出	戸板康二		幕間	昭和24・9	和敬書店
佳作・鴈の「伊勢音頭」[昭和24・8名古屋御園座][勘当場]	劇評	木村菊太郎		幕間	昭和24・9	和敬書店
逆櫓の人々作品論	研究	池田弥三郎		演劇界	昭和24・10	日本演劇社
樋口か権四郎か[昭和24・9東京劇場][逆櫓]	劇評	本山荻舟		演劇界	昭和24・10	日本演劇社
口上のある風景[昭和24・9東京劇場][逆櫓]	劇評	戸板康二		幕間	昭和24・10	和敬書店
吉右衛門一座の前進[昭和24・10名古屋御園座][逆櫓]	劇評	木村菊太郎		幕間	昭和24・11	和敬書店
秀山夜話[樋口]	芸談・型		《1》中村吉右衛門	幕間	昭和24・11～12	和敬書店
「逆櫓」の樋口のこと	芸談	《1》中村吉右衛門		『吉右衛門自伝』		昭和26年7月◆啓明社
私の芸談◆逆櫓	芸談		《4》竹本津太夫	幕間	昭和25・5	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
舞台観察手引草◆ 「逆櫓」の研究(一)	解説	戸部銀作／註解		幕間	昭和26・2	和敬書店
舞台観察手引草◆ 「逆櫓」の研究(二)	解説	戸部銀作／註解		幕間	昭和26・3	和敬書店
舞台観察手引草◆ 「逆櫓」の研究(三)	解説	戸部銀作／註解		幕間	昭和26・4	和敬書店
同人合評会[昭和26・ 7新橋演舞場][勘当 場]	劇評	渥美清太郎・浜村米 蔵・戸板康二・利倉幸 一・安藤鶴夫・三宅三 郎		演劇界	昭和26・8	演劇新社
延命院・牡丹燈籠な ど[昭和26・7新橋演 舞場][勘当場]	劇評	三宅三郎		幕間	昭和26・8	和敬書店
膝栗毛と逆櫓、丑松 [昭和27・8新橋演舞 場][逆櫓]	劇評	本山荻舟		劇評	昭和27・9	第一書店
勘三郎の奮闘劇[昭 和27・8新橋演舞場] [逆櫓]	劇評	大木豊		幕間	昭和27・9	和敬書店
かすかに延若を偲ぶ [昭和28・3大阪大阪 歌舞伎座][勘当場]	劇評	利倉幸一		演劇界	昭和28・4	演劇出版社
延若追善の歌舞伎座 [昭和28・3大阪大阪 歌舞伎座][逆櫓]	劇評	高谷伸		幕間	昭和28・4	和敬書店
勘弥・芦燕・段四郎 [昭和30・4東横ホー ル][勘当場]	劇評			演劇界	昭和30・5	演劇出版社
芦燕の快打[昭和30・ 4東横ホール][勘当 場]	劇評	浜村道哉		幕間	昭和30・5	和敬書店
市村座時代◆樋口と 清正	評伝	河竹繁俊	《1》中村吉右衛門	『中村吉右衛門』		昭和30年9月◆富山 房
樋口の包帯	逸話	川尻清潭	樋口(《7》幸四郎)	『楽屋風呂』		昭和30年11月◆梨の 花会
舞台鑑賞◆逆櫓	解説	松井敏明		劇評	昭和31・5	「劇評」社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
五度目のジンス[昭和31・4歌舞伎座][逆櫓]	劇評	大木豊		劇評	昭和31・5	「劇評」社
幕間随想◆残る芝居、残らぬ芝居[逆櫓]	芸談		《8》松本幸四郎	幕間	昭和31・5	和敬書店
四月の歌舞伎座[昭和31・4歌舞伎座][逆櫓]	劇評	加賀山直三		幕間	昭和31・5	和敬書店
友右衛門の「道成寺」[昭和31・6京都南座][無間鐘]	劇評	桂田重治		幕間	昭和31・7	和敬書店
劇人閑話(その三)[「勘当場」源太・千鳥]	芸談		《7》尾上梅幸	幕間	昭和32・3	和敬書店
源太勘当・逆櫓	鑑賞	利倉幸一		演劇界◆歌舞伎狂言百科◆1	昭和32・6増刊	演劇出版社
名作案内◆ひらかな盛衰記	研究	渥美清太郎		演劇界	昭和32・12	演劇出版社
さよなら大阪歌舞伎座[昭和33・3大阪大阪歌舞伎座][勘当]	劇評	三宅周太郎		演劇界	昭和33・4	演劇出版社
幕間随想◆「勘当場」の源太	芸談		《13》片岡仁左衛門	幕間	昭和33・4	和敬書店
幕間随想◆初役の平次	芸談		《2》実川延二郎	幕間	昭和33・4	和敬書店
最後を飾る好舞台ぞろい[昭和33・3大阪大阪歌舞伎座][勘当場]	劇評	関逸雄		幕間	昭和33・4	和敬書店
松竹大歌舞伎神戸公演雑感[昭和33・5兵庫神戸新聞会館][勘当場]	劇評	佐野漣箕		幕間	昭和33・6	和敬書店
樋口兼光	芸談	加賀山直三／編	《2》尾上松緑	演劇界	昭和33・11	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
逆櫓	芸談	加賀山直三	《2》尾上松緑・《3》尾上鯉三郎・《7》中村福助・《3》坂東鶴之助・《17》市村羽左衛門	演劇界	昭和33・11	演劇出版社
船頭権四郎	芸談	加賀山直三／編	《3》尾上鯉三郎	演劇界	昭和33・11	演劇出版社
脇役の聞いた話◆夕 テ師修行	芸談		坂東八重之助	劇評	昭和33・11	「劇評」社
お筆	芸談	加賀山直三／編	《7》中村福助	演劇界	昭和33・11	演劇出版社
道成寺と逆櫓の夕テ [昭和33・10歌舞伎 座]	劇評	加賀山直三				
およし	芸談	加賀山直三／編	《4》坂東鶴之助	演劇界	昭和33・11	演劇出版社
畠山重忠	芸談	加賀山直三／編	《17》市村羽左衛門	演劇界	昭和33・11	演劇出版社
逆櫓の夕テ	芸談	加賀山直三／編	坂東八重之助	演劇界	昭和33・11	演劇出版社
幕間随想◆演目選定の 失敗[「逆櫓」樋口]	芸談		《2》尾上松緑	幕間	昭和33・11	和敬書店
幕間随想◆手探りの 二役[「逆櫓」のお筆]	芸談		《7》中村福助	幕間	昭和33・11	和敬書店
菊五郎劇団の芸術祭 [昭和33・10歌舞伎 座][逆櫓]	劇評	三宅三郎		幕間	昭和33・11	和敬書店
先陣問答	解説・芸談	加賀山直三	《9》市川海老蔵・《3》市川左団次《17》市村羽左衛門・《7》中村福助	演劇界	昭和35・10	演劇出版社
歌舞伎と新作[昭和 35・9明治座][勘当 場]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和35・10	演劇出版社
名作鑑賞席◆先陣問 答[勘当場]	鑑賞	加賀山直三		演劇界	昭和35・10	演劇出版社
幕間随想◆今月の三 役三感[「勘当場」の 千鳥]	芸談		《7》中村福助	幕間	昭和35・10	和敬書店
量感を欠く憾み[昭和 35・9明治座][勘当 場]	劇評	左本政治		幕間	昭和35・10	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
幕間随想◆二つの芸者役[「逆櫓」およし・「夢花火」・「吉原狐」]	芸談		《4》坂東鶴之助	幕間	昭和36・2	和敬書店
初春の菊五郎劇団 [昭和36・1新橋演舞場][逆櫓]	劇評	加賀山直三		幕間	昭和36・2	和敬書店
ひらかな盛衰記	解説	河竹繁俊		『演劇百科大事典』	第四巻	昭和36年3月◆平凡社◆演劇博物館／編
記録と鑑賞◆無間の鐘	型・鑑賞	服部幸雄		演劇界	昭和37・12	演劇出版社
伝統美の大盤振舞 [昭和41・5歌舞伎座][勘当場]	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和41・6	演劇出版社
歌舞伎狂言鑑賞ガイド◆逆櫓	鑑賞	松井敏明		演劇界	昭和39・5	演劇出版社
ひらかな盛衰記	鑑賞	戸板康二		演劇界◆歌舞伎狂言の鑑賞◆1	昭和44・5増刊	演劇出版社
源太勘当	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和45・2	演劇出版社
両成駒顔合せ [昭和45・6歌舞伎座][勘当場]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和45・7	演劇出版社
山神に魔の神を視た [昭和48・1歌舞伎座][勘当場]	劇評	武智鉄二		演劇界	昭和48・2	演劇出版社
『歌舞伎の型◆二◆ひらがな盛衰記◆勘当場』	型	加賀山直三／著	《14》守田勘弥／談	『歌舞伎の型◆二◆ひらがな盛衰記◆勘当場』		昭和50年4月◆国立劇場芸能調査室
続歌舞伎名作選◆逆櫓	型・鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和50・6	演劇出版社
逆櫓	型・鑑賞	志野葉太郎		『歌舞伎◆型の伝承』		平成3年11月◆演劇出版社
若さへの移行 [昭和51・12京都南座][勘当場]	劇評	沼艸雨		演劇界	昭和52・1	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
女の義と男の情[昭和53・1歌舞伎座][勘当場]	劇評	水落潔		演劇界	昭和53・2	演劇出版社
ひらかな盛衰記	鑑賞	藤井康雄		演劇界	昭和54・5	演劇出版社
ひらかな盛衰記	鑑賞	武智鉄二		演劇界◆歌舞伎名作案内◆2	昭和54・10増刊	演劇出版社
監修のことば	演出	郡司正勝		国立劇場第一〇一回歌舞伎公演解説書	昭和54・12	国立劇場事業部
『ひらかな盛衰記』の人々	鑑賞	藤井康雄		国立劇場第一〇一回歌舞伎公演解説書	昭和54・12	国立劇場事業部
故名優の「ひらかな盛衰記」	鑑賞	志野葉太郎		国立劇場第一〇一回歌舞伎公演解説書	昭和54・12	国立劇場事業部
無間の鐘をめぐって/	鑑賞	日野龍夫		国立劇場第一〇一回歌舞伎公演解説書	昭和54・12	国立劇場事業部
史蹟を往く◆ひらかな盛衰記	鑑賞			国立劇場第一〇一回歌舞伎公演解説書	昭和54・12	国立劇場事業部
文楽の舞台から◆ひらかな盛衰記	鑑賞			国立劇場第一〇一回歌舞伎公演解説書	昭和54・12	国立劇場事業部
木曾谷の人々◆義仲と四天王	鑑賞	(T)		国立劇場第一〇一回歌舞伎公演解説書	昭和54・12	国立劇場事業部
物を言う年輪の芸[昭和54・12国立劇場][勘当場・逆櫓]	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和55・1	演劇出版社
ひらかな盛衰記	解説	上総英郎		演劇界	昭和58・10	演劇出版社
ひらかな盛衰記	解説	上総英郎		『歌舞伎鑑賞案内時代浄瑠璃の世界』		平成3年9月◆朝文社
ひらかな盛衰記	解説	佐藤彰		『歌舞伎事典』◆『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月◆平凡社◆服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編◆平成23年3月
久びさの新作「北洲霊異」[昭和59・11国立劇場][逆櫓]	劇評	中村哲郎		演劇界	昭和59・12	演劇出版社
仁左衛門歌舞伎鑑賞教室◆逆櫓	芸談	水落潔	《13》片岡仁左衛門	演劇界	昭和60・8	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
中堅、若手の弥生狂言[昭和61・3歌舞伎座][逆櫓]	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和61・4	演劇出版社
勘三郎の気組み[昭和61・5歌舞伎座][勘当場]	劇評	利根川裕		演劇界	昭和61・6	演劇出版社
「逆櫓」と「お染の七役」[昭和63・12歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和64・1	演劇出版社
羽左衛門弁慶への疑問[平成3・1歌舞伎座][勘当場]	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成3・2	演劇出版社
好々爺、権四郎の悲嘆[逆櫓]	芸談		《13》片岡仁左衛門	『芝居譚』		平成4年10月◆河出書房新社
笹引、そして逆櫓の松[平成4・10国立劇場][逆櫓]	劇評	戸板康二		演劇界	平成4・11	演劇出版社
三部制の夏芝居の安定感[平成5・8歌舞伎座][逆櫓]	劇評	野村喬		演劇界	平成5・9	演劇出版社
菊五郎出色「め組の喧嘩」[平成5・10名古屋御園座][勘当場]	劇評	川村正		演劇界	平成5・11	演劇出版社
「源太勘当」と「盲長屋」[平成6・2歌舞伎座][勘当場]	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成6・3	演劇出版社
「ひらかな盛衰記」管見◆三段目に関する二、三の問題	研究	松崎仁		日本文学研究		30 平成7年1月◆梅光女学院大学日文学会
逆櫓の充実感[平成8・6歌舞伎座][逆櫓]	劇評	福本和生		演劇界	平成8・7	演劇出版社
錦秋の顔見世[平成12・10名古屋御園座][勘当場]	劇評	川村正		演劇界	平成12・12	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
当り役が並び充実した公演[平成17・4歌舞伎座][勘当場]	劇評	水落潔		演劇界	平成17・6	演劇出版社
人形浄瑠璃における「加工行為」◆浄瑠璃作者文耕堂の創作活動が生み出したもの	研究	黒石陽子		日本文学	55巻1号	平成18年1月◆日本文学協会
梅ヶ枝／珍斎／横須賀軍内／梶原源太景季1／梶原源太景季2	解説	石橋健一郎		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月◆白水社◆古井戸秀夫／編◆河竹登志夫／監修
延寿／お筆／およし／権四郎／畠山重忠2／樋口次郎兼光	解説	岡田万里子		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月◆白水社◆古井戸秀夫／編◆河竹登志夫／監修
吉右衛門の芸を堪能[平成20・4名古屋御園座][勘当場]	劇評	安住恭子		演劇界	平成20・6	演劇出版社
ひらがな盛衰記[箆の梅]	解説	渥美清太郎		『系統別◆歌舞伎戯曲解題◆上』		平成20年12月◆日本芸術文化振興会◆「歌舞伎資料選書・11」
ひらがな盛衰記	解説	渥美清太郎		『系統別◆歌舞伎戯曲解題◆中』		平成22年3月◆日本芸術文化振興会◆「歌舞伎資料選書・11」
ひらかな盛衰記	解説	樋口和宏		『〈最新〉歌舞伎大事典』		平成24年7月◆柏書房◆神山彰・丸茂祐佳・児玉竜一／編集◆富澤慶秀・藤田洋／監修
菊五郎の新版「太閤記」[平成28・2歌舞伎座][勘当場]	劇評	小玉祥子		演劇界	平成28・4	演劇出版社